

## 3月の活動内容報告

### ビーバー(BVS)隊



**3/5** 隊集会「なかまを信じて」をテーマの隊集会を行いました。公園で行ったチーム対抗戦のゲームは銀行じゃんけんとリレー。まずは銀行じゃんけん。個人戦で練習してルールを覚え、チームに分かれて勝負。じゃんけんには強いスカウトはホント強かった！そのあとはリレー。早さだけではなく、コーンを回ってきたり、帽子を増やしてかぶっていく内容でもしました。相談しあったり、応援しながら必死に走っていました。

最後にスカウト達の提案により、「色おに」「バナナおに」「かくれんぼ」をしました。ルールが知らない、分からないスカウトには知っているスカウトが説明してくれました。鬼になっても、そうじ

ゃなくても楽しんでいました。

**3/19** ビーバー隊ハイキング 2022年度最後の集会は「江の島探検」をテーマに江の島へ出掛けました。片瀬江ノ島駅から観察系の課題をグループで協力して解きながら進みました。たこせんべいやガラス細工など誘惑の多い参道を歩き、階段を登り下りして岩屋洞窟まで向かいました。途中で八方にらみの亀や龍神をみて、気合いをいれて歩きました。真っ暗な岩屋洞窟ではロウソクをもって探検をしました。そのあと岩場でお昼ごはんを食べましたが上

空でトビがみんなのおにぎりを狙ってました。シーキャンドルでは気持ちのいい海風を受けながら360度のパノラマビューを楽しみました。烏帽子岩や江ノ電等のほか、沖のほうにはカブ隊以上が舎営をしている大島も見えましたが、あいにく富士山は…



サムエル・コッキング苑ではリスにも会えました。

現地で終わりのセレモニーをして、1年間の頑張ったで賞と小枝賞の授与を行いました。久しぶりに葉っぱシール100枚を集めたスカウトがいて大枝賞を渡しました。2年生スカウトは次に会うときはカブの制服だね、と今年度最後の大輪をして解散しました。



**3/5** りすの道 新学期まであと1ヶ月、ビッグビーバーが集まって、カブスカウトについて学ぶプログラム、りすの道が開かれました。りすの道のハンドブックに沿って、ボーイスカウトを始めたベーデンパウエルのお話やボーイスカウト運動について、一番大事なやくそくとさだめ、スカウトサイン、握手、モットーについて、みんなで学びました。難しい言葉はないけど、知ってるつもりでも説明しようとする中々難しいことを体験。



課目を全て修了したら、あとは4月の入隊式でみんなの前でやくそくとさだめを宣言すれば、りすバッチをゲットして正式に青い制服を着てカブスカウトに！その後、ミニプログラムを体験。リーダーのお菓子を盗んで逃げた緑の体毛の怪獣を追ってミニハイキングへ。緑の毛糸と記号のお枝を見分けて進んでゴールまでたどり着いたら、ベビーラムネのお宝をゲットして解散となりました。

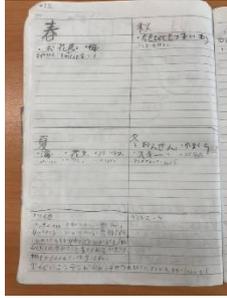
## カブ(CS)隊



**3/5 組集会** 2週間後の伊豆大島への春の舎営の説明集会。まだ肌寒い外に出てセレモニーと走り回るゲームのあと、部屋に入り、しおりが配布され

舎営について、プログラムと目的と持ち物や準備することの説明がありました。その後数少ない今年度に、まだカブブックが修了していないスカウトのおさらいをして、年度内に全員のカブブック修了を目指しました。

**3/12 組集会** 今期最後の組集会、来期に向けてやりたいことを組ごとに季節ごとに申し出て、最後に発表しました。



スカウトらしいプログラム：みんなでキャンプ、チーフリング作り、秘密基地作り、段ボール家づくり、焚き火、外国の料理作り、特技ひろう会、工場見学をする

季節のプロ：お花見、雪遊び、かまくら作り、昆虫採集、凧揚げ、畑作り

美味しそう：BBQ、ベッ甲あめ作り、燻製作り、うどん作り、お茶野だて海で楽しむ：魚釣り、ボートで海を渡る

冒険：気球に乗る、バンジージャンプ などなど

発表の合間に外でも遊びました。アイデアはリーダーのプログラム立案の参考になりました。

### 3/5 月の輪集会④

### 3/25-26 月の輪集会⑤

月の輪キャンプ 今年でカブ隊を卒業するスカウト

が、月の輪の最後のプログラムとして、ボーイ隊の船橋市大神保キャンプに1泊2日で参加しました。

まだ上進を迷っているスカウトに楽しいキャンプを体験してもらって上進して欲しいところなのに、天気予報通りの大雨のキャンプになってしまいました。途中、避難棟で過ごしたりしましたが、午後に雨が上がり、焚き火体験などのあと夕方近くにボーイの班に合流し、班の見習いとしてソロテントを立て、夕食のお手伝いや夜のナイトゲーム、ボーンファイヤーを体験しました。ボーンファイヤーでのボーイ他のキャンプの感想で、ボーイ隊の仲間とのキャンプについて雨の中でも楽しんでいる話をききました。

2日目。みんなの願いをちょっとだけ聞いてくれて、起床時は雨は降っておらず、朝食作りも無事進み、同じエリアでキャンプをしていた江東第3団と合同の朝礼とモーニングゲームを実施。この頃からパラパラ降り始めたので、通常は乾燥してからたたむテントも即撤収。その後も雨は強まる中、撤営作業が続きました。



終了後、避難棟で最後のセレモニー、月の輪課程の修了認定を受け、帰路につきました。概ね雨のキャンプになってしまいましたが、最後のキャンプが何か響いていてくれると嬉しいです。

終了後、避難棟で最後のセレモニー、月の輪課程の修了認定を受け、帰路につきました。概ね雨のキャンプになってしまいましたが、最後のキャンプが何か響いていてくれると嬉しいです。

終了後、避難棟で最後のセレモニー、月の輪課程の修了認定を受け、帰路につきました。概ね雨のキャンプになってしまいましたが、最後のキャンプが何か響いていてくれると嬉しいです。



**4/8 りすの道** 翌日の年度初めのセレモニーを前に、入隊が決まったスカウトがりすの道を行いました。ボーイスカウトの始まり、カブの始まり、敬礼や握手カブサインなどと共に、最も大切なカブスカウトの「やくそくとさだめ」の内容については丁寧に時間を掛けて、時にはゲーム感覚で学びました。

全ての課目の修了後、公園に出て追跡ミニハイク。「逃げた怪獣を追い！」と題して、怪獣の毛を追ってゴールを目指しました。最後のゴールのラムネをゲットしてミニハイキング終了。やくそくとさだめを最後に確認して解散しました。



## ボーイ(BS)隊



### 3/5 班長会議/デンコーチ奉仕/月の輪支援

各スカウトが、それぞれの役割を持つ隊の支援に参加しました。今後リーダーや上級スカウトに進級する上で勉強になってるかな？班長会議では、数週間後に迫った大島舎営について、年度末に控えるキャンプについて話し合いました。カブ隊では、セレモニーの後にゲームを実施。まだ寒い頃合いですが、スカウト達はとても元気でボーイ隊のスカウトもカブ隊スカウトと混じって、元気に楽しみました。その後は大島舎営の説明会をしました。午後は月の輪集会。中野 ZERO の集会室で行うのは最後。この次は月末に船橋で行われるキャンプに参加。ボーイ隊についてさらに知るべく、キャンプに向けた準備や、進級について再確認をしました。現役ボーイ隊スカウトとして、様々な知識を伝授しました。キャンプで成果が出るといいね。



### 3/12 備品整理

月末のキャンプに向けた備品整理を行いました。テントやフライのペグの数はちゃんとあるかな？ランナーの本数は大丈夫？ちょっとした確認のミスから、現地で慌てないように班員全員で協力しながら備品の確認、整理を行いました。備品リストに記載の数が絶対正しいとは限らないぞ？！スカウトのキャンプ経験が生きる場でもありました。

### 3/24-26 春の隊キャンプ in 船橋

前月の野営訓練でも訪れた、船橋市泉民の森にある青少年キャンプ場にて春キャンプを実施しました。翌年度からはカブ隊からスカウトが上進してくるため、このメンバーで行う最後のキャンプとなりました。初日から大雨に見舞われ、土砂降りの中設営を行いました。午後のプログラムはウッドクラフト。木材を使い、野外工作物を作成しました。前月の野営



訓練の成果はあったかな？

雨が止むことはなく、1日目終了。

2日目はハイキングを主としたプログラム。

地図を読み解き、目的地である丘の上いちご園を目指しました。多少の苦労はありますが無事に到着し、いちご狩りをして楽しみました。キャンプ場に戻ると、ここからはカブ隊月の輪スカウトと合流！人数がどっと増え、雨は相変わらずでしたが、それを吹き飛ばすくらいに賑やかな雰囲気になりました。夕食の炊事などを月の輪スカウトと合同で行い、4月から迎え入れる下準備として、再度技能の確認をする場になったと思います。

夜は恒例のキャンプファイヤーといきたいところ



でしたが、あいにくの雨のためフライの下で小さな火を焚き、みんなで囲みました。各スカウトがこの1年を振り返り、考える場になりました。

あっという間のキャンプ最終日。撤営時も雨は降り続けました。ここまで雨続きのキャンプはなかなか珍しいですが、年度末にこのような経験ができたということは、間違いなく翌年度の経験値として生きることでしょう。

## ベンチャー(VS)隊



### 3/5 月の輪支援

月の輪集会に参加しました。集会室で行う最後の月の輪集会。先輩スカウトとして、キャンプや進級のアドバイスをしました。

### 3/12 富士顕彰のつどい参加

今年に富士スカウトに上進したスカウトのプロジェクト発表会に参加しました。自分で考え、自ら企画するプロジェクト。富士スカウトのプロジェクトのレベルの高さには驚きました。今後のプロジェクト企画に役だったかな？

### 3/24-26 BS 隊キャンプ支援

年度末の最後のキャンプの支援に参加しました。場所は船橋青少年キャンプ場。2日目から月の輪スカウトも合流し、賑やかなキャンプになりました。

### 3/29 ローバー隊会議参加

4月からローバー隊に上進するスカウトが参加しました。オンライン形式での開催、来年度からローバー隊になるための準備等を行いました。

## ローバー(RS)隊



### 3/5 AM カブ隊集会奉仕/PM 月の輪集会支援

午前中はカブ隊集会に1名、午後の月の輪集会に2名のスカウトが参加しました。月の輪集会では、ボーイ隊でのスカウト章についてやキャンプの基礎についてレクチャーしました。

### 3/10 ボーイ隊リーダー会議参加

ボーイ隊のリーダー会議に1名のスカウトが参加しました。月の輪集会を運営しての振り返り、反省をしました。

### 3/11-12 スカウトキャンプ研修会参加

2日間に渡り、千葉県山武市にある日向野営場にて研修会が実施されました。ローバースカウトとして必要な野営指導のスキル、それに関わる知識や技能について学びました。8団からは1名のスカウトが参加しました。

### 3/12 ボーイ隊備品整理参加

1名のスカウトがボーイ隊の備品整理に参加しました。先輩スカウトとしてしっかり指導しました。

### 3/24-26 BS 隊キャンプ支援

ベンチャー隊と同じくボーイ隊の春キャンプに参加しました。25日からは、合流した月の輪スカウトへの支援を中心に行いました。1名のスカウトが参加しています。

### 3/29 ローバー隊会議

久しぶりの隊会議を行いました。オンラインでの開催で、4月からローバー隊に上進するスカウトも参加しました。ローバー隊からは1名のスカウトが参加しました。

## 春の舎営

### 3/17-19 カブ隊・ボーイ隊・ベンチャー隊・ローバー隊合同 春舎営 伊豆大島

東京都なのに島！2020年に企画されコロナで中止となった大島舎営がやっと実現しました。

3/17：カブ隊は20時に中野駅に集合し、夜の集合なのでテンション高めで竹芝桟橋へ向かいました。一方ボーイ隊以上は直接竹芝桟橋に集合。東海汽船の大型客船「さるびあ丸」に乗船しました。初めて船に乗るスカウトもいてみんな大興奮！デッキで見送りの家族に手を振ったり、夜景をバックに記念撮影したり、走り



回ったりしているうちに22:00の出航。合図のドラムも意味を知っている子はおらず、東京タワーを探したり、レインボーブリッジを船が潜り抜けられるかが心配で大声出したりと小一時間船旅を満喫しました。翌日は6:00大島で下船、5:30には起床するので、早々に就寝となりました。

3/18：早朝岡田港に到着。予報通り大雨なのでカブ隊はプログ



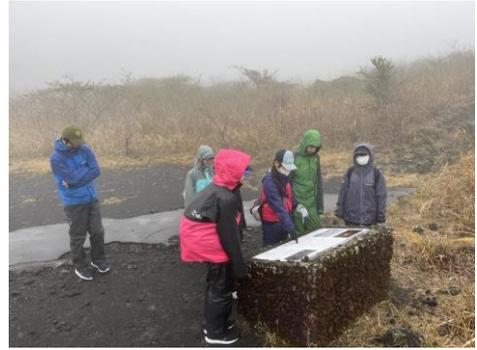
ラムを翌日とそっくり替えて、宿あさのさんで休憩したあと、火山博物館に向かい、チャレンジ章の地質学者にチャレンジとして、火山、地震、山と川のできる仕組みを映画やガイドさんの話で学びました。その後、あしたば工房さんでの樺の花染め物体験で、個性豊かなしぼりでピンク色に染めて楽しみました。また、公園でゴジラも発見し宿に帰り、美味しいご飯を頂きました。



夜は予定していたナイトハイキング。期待通り雨が上がったので、星は見れなかったけど泉津漁港まで歩いて、普段は見られない陸に上げられた船底を観察したり、ゴミ拾いなどをしました。ボーイ隊は天候に負けず、三原山ハイキングを



しました。大雨となってしまい視界が悪く何も見えない状況でしたが、それでもスカウト達はめげずに頑張っていました。ある意味忘れられない経験になったと思います。3/19：予報通り雨が上がったので、カブ隊はハイキングにでかけました。28人乗りマイクロバスの移動なので2組ずつ2回に分けて山頂口に移動。しおりに記載された課題



を元に山頂を目指しました。晴れてたけれど雲が多く富士山は見れずじまい。それでも景色を堪能しながら、神社や火山の煙、ゴジラの岩などを見つけながら進みました。下山後 15:10 の船に乗るため、大島公園には行かず近道で岡田港に向かいました。最後に日の出海岸で磯遊びやゴミ拾いをした後、今季最後のカブコール。カブブック



修了者のステップ章授与、地質学者の授与に続き、優秀組の発表です。みんな頑張った！ みんな自分から進んで取り組んだ組が表彰され、みんなでウォーウォーウォーと祝声を上げました。

ボーイ隊以上は自転車を借りて大島サイクリングをしました。初日とは真逆で快晴で、天候には大変恵まれました。サイクリングは午前中で終了し、午後にはもう帰路へ。

行きの大型客船とは違い、東京まで小一時間で結んでしまう高速ジェット船に乗りました。あっという間の3日間でしたが、大型船に乗ったり、離島へ行ったり、初めて経験するスカウトも多かったはず。とても充実した舎営になりました。



### 3月のスカウト進歩情報

<b>BVS:</b>	H. Y. くん	大枝賞 (小枝章10本目)
	Y. U. くん	小枝章6, 7本目
	T. N. くん	小枝章6本目
	M. N. さん	小枝章5本目
	H. N. さん	小枝章3本目
	J. H. くん	小枝章2本目
<b>CS:</b>	K. S. くん	くまバッヂ
	R. T. くん	くまバッヂ、チャレンジ章「地質学者」
	A. T. くん	くまバッヂ、チャレンジ章「地質学者」
	T. Y. くん	くまバッヂ、チャレンジ章「地質学者」
	Y. I. さん	しかバッヂ
	T. I. くん	しかバッヂ、チャレンジ章「地質学者」
	K. O. さん	しかバッヂ、チャレンジ章「地質学者」
	H. K. くん	しかバッヂ、チャレンジ章「地質学者」
	S. J. さん	しかバッヂ、チャレンジ章「地質学者」
	S. T. さん	しかバッヂ
	N. N. さん	しかバッヂ、チャレンジ章「地質学者」
	O. M. くん	しかバッヂ
	K. M. くん	しかバッヂ
	R. Y. さん	うさぎバッヂ、チャレンジ章「地質学者」
	Y. U. さん	チャレンジ章「地質学者」
	T. T. くん	チャレンジ章「地質学者」
	S. P. さん	チャレンジ章「地質学者」
	S. K. さん	チャレンジ章「地質学者」
	N. N. くん	チャレンジ章「地質学者」
	S. P. くん	チャレンジ章「地質学者」



# ちかいとあきて

活動で見つけたほのぼの話

新年度には、指導者の“人事異動”や“新任”もあります。今年新たに2人の副長が誕生することになり、また上進したローバースカウトもスカウト活動と同時に副長補として指導者の仲間入りです。

指導者は各種の講習会・研修に参加しています。初歩は「ボーイスカウト講習会」。その後、隊指導者の研修に参加します。ボーイスカウト講習会は、指導者に限らず、スカウト活動を知っていただく機会として広く参加を募集しています。お子さんの活動を理解し支えることができるよう、保護者の皆さまにも参加していただくことにしています。年2回春と秋に開催されますので、ご都合のよろしい時にお誘いあわせの上ご参加ください。特にデンリーダーや補助者を引き受けてくださった方は参加をお願いします。8団の指導者も講習会講師やスタッフとして奉仕参加しています。



## リーダーの活動

- 3/4 スカウトキャンプ° 研修  
会実地調査
- 3/4-5 城東スカウトキャンプ°  
研修会
- 3/5 団会議
- 3/9 地区CS円卓会議
- 3/10-12 スカウトキャンプ° 研修  
会
- 3/10-12 スカウトキャンプ° 研修  
会奉仕
- 3/13 地区委員会
- 3/19 BS° 吐き-
- 3/20 WBSC 所員会議
- 3/26 CS° 吐き-
- 3/27 地区JIG 会議

## スカウト豆知識

### 「ちかいとあきて」

上進式で新ボーイ隊スカウトがたてた“ちかい”の内容を改めて紹介しましょう。

「ちかいとあきて」は、創始者ベーデン=パウエルが示したスカウト運動の理念、すなわち、「神へのつとめ」・「他へのつとめ」・「自分へのつとめ」を反映して、スカウト達に分かりやすく、実行しやすいように示したものです。

私（わたくし）は名誉にかけて、次の3条の実行をちかいます。

1. 神と国とに誠を尽くし、あきてを守ります。
1. いつも、他の人々をたすけます。
1. からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います。

“ちかいはスカウトの信条”

スカウトは、名誉を生命とします。その名誉にかけて誓ったのですから、自分で破ることは出来ません。

「ちかいは一生自己を内省する鏡となり、自分をむち打つ力、すなわち『信条（心のよりどころ）』となるのです。そして、スカウトサインの3本の指は、この3つのちかいを意味します。

- スカウトは誠実である スカウトは友情に厚い
- スカウトは礼儀正しい スカウトは親切である
- スカウトは快活である スカウトは質素である
- スカウトは勇敢である スカウトは感謝の心をもつ

“あきては日常生活のものさし”

「ちかひ」が信条なら、「あきて」はスカウトの日常生活のものさしです。8つの項目がありますが、いずれも法律や規則のように「・・・すべし」とか「・・・してはならない」とは書いてありません。すべて「・・・である」と書かれています。

この点に関し、ベーデン=パウエルは次のような言葉を残しています。

『少年は「するな」によって統括されるのではなく、「する」によって導かれていく。スカウトの「あきて」は、彼が間違えをしないよう阻止するものとしてより、むしろ行動の指針とするために考案されたのである。それは模範とも言うべきスカウトに期待されるあり方を明示しているに過ぎない。』

\*活動の写真是団の Google Drive で共有しています。ご希望の方は各隊隊長にご自身の Google アカウントをご連絡ください(Google アカウントをお持ちでなくご希望の方はアカウントを作成ください。無料で簡単に作成できます)。

\*Facebook ページで活動の様子を報告しています。アカウントがなくても閲覧いただけます。

<https://www.facebook.com/nakano8/>

\*twitter、Instagram も中野8団アカウントがあります。